

第2回 調布市道路網計画有識者委員会 議事要旨

1 日時

令和7年4月18日（金）午後4時00分～午後6時00分

2 場所

調布市文化会館たづくり会議室

3 議事

- （１）第１回委員会の振り返り
- （２）道路網計画の枠組み
- （３）市民ニーズ
- （４）道路網計画の目標及び視点

4 委員からの主な意見

- 道路網の将来ビジョンは、新たな目標を示すのではなく、街の将来像に対してどういう役割を持つか書かれるべき。
- 道路網の将来ビジョンを作るときに、市街地形成機能からのアプローチがなくてよいのか。
- 次回の市民参加機会では、これまでの市民参加結果もパネルに入れ、市民にフィードバックしていくと良い。
- 自転車・歩行者に関連する事故が多いという現状と、道路網構築の視点で整理している現状に齟齬があるので整理が必要。
- 交通事故の分析では、市民参加結果としても、安全面に関する意見が多く挙がっており、データを深掘し、分析してほしい。
- 大規模プロジェクトに貢献するために道路整備が必要だという文脈では必ずしもなく、商業・文化・にぎわいが織りなすまちの形成のために、市の道路網がどう役立つかが主題である。
- 河川系の洪水と、内水系で避難のルートが変わる。最近は洪水だと2、3日前から避難するというパターン、集中豪雨で急に避難しなければならないパターンがあり、災害のパターンに分けて道路の在り方を議論した方が良い。
- 土木費が減少し、効率的な道路整備が必要となったときに、道路の通行機能だけでなく収用機能にも注目した効率性の議論があっても良い。